

戦

評

大会名 令和7年度
第35回岩手県バレーボールシニア選手権大会

巖きたかみ	2	$\left\{ \begin{array}{c} 21-17 \\ 21-18 \\ - \end{array} \right\}$	0	Vabo
-------	---	---	---	------

試合時間 0時間 53分

主審 女鹿口 孝
副審 鈴木 美香子

戦 評

大会6連覇を狙う巖きたかみと、大エース12番川村を擁するVaboの決勝戦。

第1セット、巖きたかみは10番高橋のサービスエースや7番佐藤のスパイクで

流れに乗り、リードする。対するVaboは、12番川村の上手さの光るスパイクや

16番志村のスパイクやサービスエースなどで食い下がる。終盤までもつれ込む

展開となったが、13番川原のスパイクや9番佐々木(宏)のブロックでブレイクを重ねた

巖きたかみがセットを先取し、6連覇に王手をかける。

第2セット序盤、後が無いVaboは12番川村、1番高橋(良)のスパイクが決まり、

リードを奪う。巖きたかみは第2セットスターターの12番泉が強烈な

スパイクで得点を重ね、セット終盤に逆転に成功する。フルセットに

持ち込みたいVaboは、12番川村の巧みな攻撃で応戦するが、

最後は巖きたかみ12番泉の強烈なスパイクが決まり、巖きたかみが

6連覇を達成した。

戦 評 者 : 大坂谷 昂汰

(一社)岩手県バレーボール協会